

「共にささえあいサポーター」 メインビジュアルイラスト及びシンボルマークの決定について

本市では、障がいの有無に関わらず、だれもが自分らしく暮らせる「共にささえあい 生きる社会」の実現を目指し、障がいのある方がどのようなことに困っているかを学び、普段の生活の中で、ちょっとした手助けなどをする「共にささえあいサポーター」の養成を令和8年6月から開始する予定です。

市民の方に、より身近に感じていただき普及を促進するため、メインビジュアルイラスト及びシンボルマークを決定いたしました。

イラストとシンボルマークは、研修資料や啓発物品の作成等に活用します。

1 メインビジュアルイラスト

製作は、本市在住の漫画家、鎧田氏。代表作は「#神奈川に住んでるエルフ」（マイクロマガジン社）



2 シンボルマーク

製作は、本市出身の※パラリンアーティスト、おおはし みさ氏。

(※パラリンアーティスト:障害のある方が自身の描いた絵画やデザインなどの作品を企業や団体に提供・貸与することで、社会参加と経済的自立を目指すアーティストのこと。)



シンボルマーク作者からの言葉

「あたたかいクッションをかみさまからもらって。」
コアラの赤ちゃんは、体重を測る時、クッションを持たないと安定して測ることができません。
支えられないと測ることができないのです。
でも、支えがあれば、測ることができる。それを思い出して…
われわれも、支えがないと、できない場面がたくさんあるけれど。
支えてくださるあたたかみで、なんでもみんなと同じにできることがある。
そして、わたしたちは、人のあたたかみを人より感じられる特別なギフトを神様からもらったようです。
神様ありがとう。



お問い合わせ
高齢・障害者福祉課
042-707-7055 (直通)

とも
共サポと
呼んでね!

とも 共にささえあい サポーター スタートします!



メインビジュアルイラスト 鑓田氏
かながわ によるいだし
す 鑓田氏
ざく さん
作 (「#神奈川に住んでるエルフ」)



だれ 誰でも
きがる 気軽に
じゅこう 受講
できます!

とも 共サポとは

とも 共サポとは
「共にささえあい生きる社会」の実現を目指し、
しょう 障がいのある方がどのようなことに困っているかを学び、
ふだん 普段の生活の中で、ちょっとした手助けなどを
するサポーターの方々です。

とも 共サポになるには

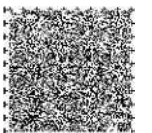
ちよっとした手助けをしたい!と
おも 思っている方なら養成講座を受講していただければ
だれ 誰でも共サポになることができます。
こうざ 講座は令和8年6月から開始する予定です。



とも 共サポの詳細は
ホームページを
かくにん ご確認ください。

さがみはらし
相模原市

こちらは
目の不自由な方のための
音声コードです。





とも 共サポになると

とも 共にささえあいサポーターのシンボルマークが入ったサポーターグッズを贈呈します。 共サポになった方は自分のできる範囲で、次のことに努めてください。

- ・障がいに対する積極的な理解
- ・普段の生活の中での障がい児者に対する配慮、ちょっとした手助け
- ・障がい福祉に関するイベント、地域活動等への参加
- ・サポーターの周知

このシンボルマークは相模原市出身の
パラリンアーティストおおはしみさ氏に
作成いただきました。

ちょっとした手助けって 何をすればいいの？

障がいの種類や程度によって、必要となる手助けは異なります。
まずは困っている人がいれば声をかけ、その人に合わせた配慮をすることが大切です。
自分のできる範囲で、一人で無理なら、周りの人と一緒に手助けしましょう！

みんなで目指そう 「共にささえあい 生きる社会」の実現



「共にささえあい 生きる社会」とは、
相模原市が障がいの有無にかかわらずあらゆる人の尊厳が守られ
安全で安心して暮らせる共生社会の実現に向けて
障がいに関する理解促進のために定めたキャッチフレーズです。

相模原市ホームタウンチームも「共にささえあい 生きる社会」を応援しています！



©S.C.SAGAMIHARA
SC 相模原



ノジマステラ
かながわさがみはら
神奈川相模原



みつびしじゅうこうさがみはら
三菱重工相模原
ダイナボアーズ



さがみはら
ノジマ相模原ライズ



さがみはら
ほねごり相模原

お問い合わせ

相模原市健康福祉局地域包括ケア推進部高齢・障害者福祉課
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
TEL (042)707-7055 FAX (042)759-4395
メールアドレス k-s-fukushi@city.sagamihara.kanagawa.jp

